

# 第143回 仏教公開講座

年間テーマ

# 生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

まなこ  
『眼をひらく』  
こころ  
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2016年5月20日(金) 午後6時半より	
講 師	一楽 真 氏 (大谷大学教授)	
講 題	「念仏が開く生き方」	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈 (同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



**講師紹介** 1957(昭和 32)年、石川県小松市生まれ。1980年、大谷大学文学部真宗学科卒業。1985年、大谷大学大学院博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。現在、大谷大学教授、真宗大谷派宗円寺住職。

**著 書** 『大無量寿経講義—尊者阿難、座より起ち—』(文栄堂)  
『四十八願概説—法蔵菩薩の願いに聞く—』(文栄堂)  
『親鸞聖人に学ぶ—真宗入門—』(東本願寺)  
『この世を生きる念仏の教え』(東本願寺)  
シリーズ親鸞『親鸞の教化—和語聖教の世界—』(筑摩書房)

## 先生からのメッセージ

人間はつながりの中で生きています。目の前の人だけでなく、世界の問題ともつながっています。また、過去の歴史とも、未来ともつながっています。さらには、自然との関係の中を生活しているのが人間なのです。ただ、そのつながりを強く意識することもあれば、あまり感じない時もあります。場合によっては、つながっていることがうっとうしく思われることもあります。

自分の思いを超えた世界との出会い、そこから新しい生き方が開けることを親鸞聖人は教えています。その要となるのが「南無阿弥陀仏」の念仏です。阿弥陀仏を念ずるところに価値づけを超えたいのちに気づかされます。同時に、自分の価値基準によって命を計り、裁いていることの愚かさを教えられます。

念仏によってどんな生き方が始まるのか、親鸞聖人の呼びかけを一緒に尋ねたいと思います。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。TEL058-265-0033